

巡回バス

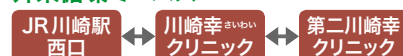
7月1日(水)から JR 川崎駅西口⇒川崎幸病院⇒川崎幸クリニックの巡回バスは、土曜午後、祝日も運行します。なお、日曜日は運行しません。また 7月1日から外来循環ミニバスも運行します。



日曜は運行しておりません。

時	川崎駅西口発 川崎幸病院行	川崎幸病院発 川崎幸クリニック行	川崎幸クリニック発 川崎駅西口行
7	00 20 40	10 30 50	15 35 55
8	00 20 40	10 30 50	15 35 55
9	00 20 40	10 30 50	15 35 55
10	00 20 40	10 30 50	15 35 55
11	00 20 40	10 30 50	15 35 55
12	00 20 40	10 30 50	15 35 55
13	00 20 40	10 30 50	15 35 55
14	00 20 40	10 30 50	15 35 55
15	00 20 40	10 30 50	15 35 55
16	00 20 40	10 30 50	15 35 55
17	00 20 40	10 30 50	15 35 55
18	00 20 40	10 30 50	15 35 55
19	00 20 40	10 30 50	15 35 55
20		10 (川崎駅西口行)	

外来循環ミニバス



土曜午後・日曜・祝日は運行しておりません。

月曜日～金曜日	土曜日
始発 8時15分(川崎駅西口発)	始発 8時15分(川崎駅西口発)
毎時 15分と 50分に川崎駅西口を出発	
最終 16時15分(川崎駅西口発)	最終 12時15分(川崎駅西口発)

1 周約 25 分～ 30 分間の循環運行

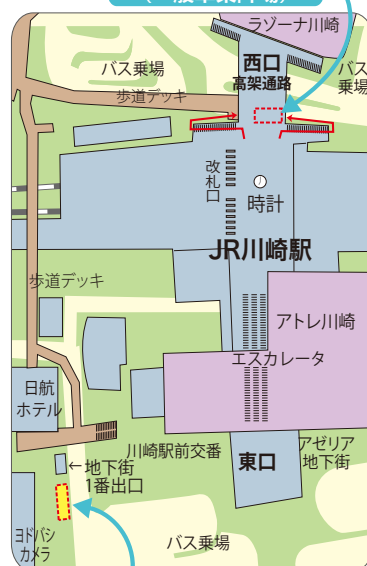
※ご利用される方々の状況により、所要時間が遅れる場合があります。

川崎クリニックシャトルバス

JR川崎駅の東口、西口の2カ所から



1F・西口
シャトルバス乗場
(一般車乗降場)



東口
シャトルバス乗場
(一般車乗降場)

運行は月～土曜日(祝日含む)、
日曜日は運行しておりません。

川崎クリニック⇔西口

時	川崎クリニック発 川崎駅西口行	川崎駅西口発 川崎クリニック行
8		15 45
9	30	15 45
10	00 30	15 45
11	00 (30)*	15
12	(00)* (30)*	
13	00 30	15 45
14	00 30	15 45
15	00	15

土曜・祝日は運行しておりません。

※利用者がいない場合は運休となります。

川崎クリニック⇔東口

時	川崎クリニック発 川崎駅東口行	川崎駅東口発 川崎クリニック行
8	50	00 20 40
9	10 30	00 20 40
10～12	この時間は運行しておりません	
13	00 20 40	10 30 50
14	00 20 40	10 30 50
15	00 20 40	10 30

土曜・祝日は運行しておりません。

※川崎クリニック直通です。

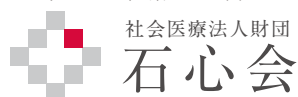
川崎幸病院・川崎幸クリニックには行きませんのでご注意ください。

※定員9名のワンボックスカーです。

石心会グループ神奈川地区

救急・急性期医療・ 放射線治療・人工透析	川崎幸病院	神奈川県川崎市幸区大宮町31番27 TEL:044-544-4611(代)
一般外来 (電話予約が必要です)	川崎幸クリニック	神奈川県川崎市幸区南幸町1丁目27番1 外来予約電話番号:044-511-2112
一般外来 (電話予約が必要です)	第二川崎幸クリニック	神奈川県川崎市幸区都町39-1 外来予約電話番号:044-511-2112
一般外来・人工透析 (電話予約が必要です)	さいわい鹿島田クリニック	神奈川県川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎3・4F 外来予約電話番号:044-556-2722
一般外来・人工透析 (電話予約が必要です)	川崎クリニック	神奈川県川崎市川崎区日進町7-1 川崎日進町ビルディング6・7・8F 外来予約:044-222-9259 透析センター:044-211-6500
人間ドック・生活習慣病健診 (電話予約が必要です)	アルファメディック・クリニック	神奈川県川崎市幸区堀川町580-16 川崎テックセンター8F 予約電話番号:044-511-6116
企業健診・一般健診 (電話予約が必要です)	川崎健診クリニック	神奈川県川崎市川崎区駅前本町10-5 クリエ川崎8F 予約電話番号:044-511-6116
定位放射線治療 脳ドック	新緑脳神経外科 (横浜サイバーナイフセンター)	神奈川県横浜市旭区市沢町574-1 TEL:045-355-3600
在宅事業部 在宅医療・ 在宅看護・ 在宅介護	さいわい訪問看護ステーション さいわい訪問看護ステーション夢見ヶ崎 さいわいヘルパーステーション	TEL:044-556-4213 TEL:044-599-1205 TEL:044-522-6871
	新川崎居宅介護支援事業所 福祉用具レンタルさいわい かしまだ地域包括支援センター	TEL:044-522-6307 TEL:044-522-6312 TEL:044-540-3222

いま求められる医療をもっと高めたい



社会医療法人財団

石心会

石心会グループ本部事務局 TEL:044-511-2266(代)
〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア東館4F



表紙: 激流
高橋正子(川崎美術協会会員)

あおぞら

納涼祭 2015

川崎幸病院／川崎幸クリニック／第二川崎幸クリニック／川崎クリニック／新緑脳神経外科／アルファメディック・クリニック／川崎健診クリニック／石心会グループ在宅事業部
発行責任者：石井映禰 編集長：倉重成忠 〒212-0013 川崎市幸区堀川町580ソリッドスクエア東館4F 電話：044-511-2266(代) <http://www.sekishinkai.or.jp>



恒例の納涼祭が7月25日(土)午後6時30分から幸区南河原公園で、石心会グループ神奈川県地区の主催のもと開催されました。

今年も猛暑の宵でしたが、納涼祭の運営スタッフによると「過去最高の人出ではないでしょうか」と言うほど、大勢の地元の皆さんが集まりました。

納涼祭は、杉山孝博・川崎幸クリニック院長と7月に開院したばかりの第二川崎幸クリニックの関川浩司院長の挨拶で始まりました。また来賓として田中和徳・衆議院議員、田中徳一郎・神奈川県議会議員、鎗木茂哉・川崎市議会議員などが駆けつけ、集まった皆さんと一緒に納涼祭を楽しみました。



「元気に楽しみましょう」と、田中和徳代議士

石心会 News

■ 川崎幸病院

6月の救急搬送の患者さん

6月に救急車で搬送された患者さんは725人でした。受け入れを断った患者さんはありませんでした。

昨年の6月では661人で、64人9.7%の増加でした。

また、4月から6月の3か月間の累計は2,332人です。

■ かわさき健康塾

6月のかわさき健康塾への参加者総数は1,379人で、実施された講座数は36でした。

主な講座としては、13日の市民公開講座「かわさき幸・人工関節フォーラム」(参加者数80人)、23日の中村真理子・川崎幸クリニック検査室／臨床検査技師による「ピロリ菌と検査

について」、稲富正治・川崎幸クリニック心理相談室室長による「性格について」(参加者数84人)、27日の川崎南部摂食嚥下・栄養研究会による「市民公開フォーラム」(参加者数138人)でした。

かわさき健康塾開始以来の通算参加者数は4万7,663人になりました。



杉山・川崎幸クリニック院長



かわいい子どもたちのフラダンス



関川・第二川崎幸クリニック院長



猛暑に生ビールコーナーはてんてこ舞い



涼を求めて噴水の周りにもたくさんの方が



開始直前、準備が整いました



始まる前から売店前に長蛇の列



ヨーヨー釣りは子どもに大人気



踊りの輪の真ん中で



川崎幸病院に婦人科が

9月より新設され、入院治療が可能となります

婦人科が治療にあたる主な疾患として、子宮筋腫、子宮内膜症、性器脱(子宮脱、膣脱)、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、卵巣腫瘍(良性)、月経前緊張症、子宮外妊娠、性器クラミジア感染症、更年期障害などがあげられます。

第二川崎幸クリニックには婦人科の外来がありますが、川崎幸病院には婦人科がなく、入院が必要となる患者さんには他の病院の婦人科を紹介するなどしていました。

入院加療が必要な患者さんにはご不便をかけていましたが、今年9

月から川崎幸病院に婦人科が設置されることになり、第二川崎幸クリニックと連携を密にした治療を行います。

新設の婦人科では、患者さんのからだに負担をかけない腹腔鏡手術などで治療にあたります。



どなたでもご参加
いただけます

お申込み不要
参加費無料

※主催団体への直接のお問い合わせはご遠慮ください。 ※2講演目以降の参加をご希望の方は、開始時間5分前を目安にお越しください。
※講演テーマ、講師は予告なく変更になる場合もあるため、最新の情報は川崎幸病院ホームページ <http://saiwaihp.jp/> でご確認ください。

出張講座

●企業・町内会、各種団体への“出張講座”を無料で承ります。～まずはお気軽にご相談ください～

※ご希望の3ヶ月前を目安にご連絡ください。内容によってはご希望に沿えない場合もございます。予めご了承ください。

※主催団体への直接のお問い合わせはご遠慮ください。 ※2講演目以降の参加をご希望の方は、開始時間5分前を目安にお越しください。
※講演テーマ、講師は予告なく変更になる場合もあるため、最新の情報は川崎幸病院ホームページ <http://saiwaihp.jp/> でご確認ください。

9月26日市民公開講座

「女性のがん 男性のがん」

～あなたと大切な人を子宮がん・前立腺がんから守るために～

9月26日(土)、午後2時から川崎市産業振興会館1Fホールで実施される同講座では、これまであまり取り上げなかった子宮がんについての講演があります。

最初の講演『「子宮がんについてのお話」～最新の治療法について～』を、お話しするのは長谷川明俊医師です。長谷川医師は日本産婦人科学会専門医、日本婦人科腫瘍専門医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医で、子宮がんについて詳しい話しがきけることでしょう。

次に「前立腺がんについてのお話」を鈴木理仁・川崎幸病院泌尿器科部長が、「放射線治療についてのお話」を芝田紫野・川崎幸病院放射線治療医が行います。

日本人のがんの罹患率がとても高くなっています。早期発見、早期治療が大切です。



8月のかわさき健康塾から

20日(木) 14:00~14:45

第二川崎幸クリニック3階会議室(定員50人)

「予防接種について」

大塚雅美

川崎幸クリニック小児科医師

赤ちゃんや子どもは、病気に対する抵抗力がまだ十分でなく、病気を予防するためには予防接種が不可欠です。

最近は多くの新しいワクチンが開発され、ワクチンで予防できる病気が増えました。数多いワクチンを適確な時期に接種する必要があります。

予防接種の正しい知識を取り入れてください。



第二川崎幸クリニック3階会議室(定員50人)

「第二川崎幸クリニックでの がん患者サポートの紹介」

田邊真由美

第二川崎幸クリニック看護科／がん化学療法看護認定看護師

がんの抗がん剤による外来治療は、川崎幸病院から第二川崎幸クリニックに移転し、7月1日から診療を開始しています。

専用の化学療法室を備え、医師、化学療法認定看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなどのチームとして対応します。がん相談外来や、がん患者支援部門を新たに設置してサポート体制を整えています。

川崎美術協会が第二川崎幸クリニックを訪問 クリニックに絵画を提供するため



案内する関川浩司院長（右端）と川崎美術協会の皆さん

第二川崎幸クリニックでは、患者さんの気持ちを癒すために、壁面に絵画を展示することを考えていました。川崎美術協会では、すでに川崎幸クリニックで会員の作品を展示しており、第二川崎幸クリニックにも同じような協力を申し出てくれました。

7月22日、川崎美術協会の宮下優一事務局長はじめ幹部の方がクリニックを訪れ、展示できる壁面や何点くらい懸けられるのか下見をしました。この下見に基

づいて、展示用のレールを設置する工事を行い、会員の作品の選定と搬入を行います。

展示時期は未定ですが、来院される皆さんの目をきっと楽しませてくれることでしょう。

川崎美術協会は、川崎市文化協会にメンバーとして参加する唯一の総合美術団体です。同協会は昭和25年に創立しましたが、昭和5年にできた川崎絵画会を発展的に解消した伝統のある美術団体です。

大動脈瘤アンカレッジ2015開催

5回目を迎える大動脈瘤アンカレッジが、今年も7月25日、横浜市のホテルで「大動脈瘤アンカレッジ2015」として開催されました。

座長を宮入剛・聖マリアンナ医科大学心臓血管外科主任教授が務め、林宏光・日本医科大学放射線医学准教授と吉鷹秀範・心臓病センター榎原病院上席副院長が講演をしました。

この日の参加者は、70人の医師をはじめとす

る医療関係者が集まりました。

医療関係者に向けた大動脈瘤アンカレッジは、大動脈診療の最前線の診療ガイドラインから最新の治療まで網羅した情報を提供するために、2011年から開催しています。代表世話人を笹栗志朗・川崎幸病院院長が務め、事務局は川崎幸病院 川崎大動脈センターに置かれています。

川崎幸病院の登録医によるショート・エッセイ

町の人々の健康を支える



眼科と内科・循環器内科の連携医療

西村有希子 本宮武司

福田記念本宮眼科内科医院院長 同副院長

JR鶴見駅西口前で開業しています。眼科は当地で開設以来77年の伝統があります。昭和13年に現院長の大学の先輩にあたる福田医師が開設し、平成13年に引継ぎました。平成20年、父親の副院長が定年退職を機に内科、循環器科を同一フロアに併設しました。

患者さんの中には親子・孫など3代、4代にわたって受診される方もいます。当院は地域のファミリードクターとして地元根付いた診療を大切にしています。

眼科では、一般眼科診療に簡単な外来手術とレーザー治療を行っています。院長は大学病院でも外来と手術を担当しており、必要に応じて大学で治療する場合もあります。眼科は手術以外予約なしの診療です。

副院長は長年大学病院、都立病院、日赤病院で循環器内科の診療をしてきた関係で、内科には地元の患者さん以外に都内在住の方や、遠く長野や静岡から通院する方もいます。再診予約制です。

クリニックに眼科と内科、循環器科が併存する利点は、高血圧、脂質異常症、糖尿病などの血管疾患が眼底検査で直視できることが挙げられます。特定健診でも眼底写真を眼科専門医が判定します。

川崎幸病院の特徴は、救急患者の受け入れや地域連携室の対応が良いことです。内科ではCT、MRI、エコー検査、消化管内視鏡検査や急な入院など毎日のようにお世話になっています。

しかし、鶴見近辺の眼科救急には問題があります。基幹病院の眼科は小規模で対応に限界があり、川崎幸病院には眼科がありません。地域住民の皆さんのために眼科救急の受け入れ態勢が改善されることを望んでいます。

福田記念本宮眼科内科医院

〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町17-19

電話 045-581-4489

診療科：眼科・内科・循環器科

川崎の町角で

19

納涼祭の舞台裏

1年を通じた南河原公園の催事のなかで、もっとも規模が大きいのが石心会グループ主催の「納涼祭」でしょう。

主催する石心会グループの川崎幸病院、川崎幸クリニック、第二川崎幸クリニック、川崎クリニック、さいわい鹿島田クリニックから、各部署の行事委員会メンバー45人が4月から準備を始めま



す。準備の打ち合わせは7回に及びました。

今年の納涼祭には、19の店と業者の店が2、合計21の店を出し、当日は、200人以上の石心会グループのスタッフが運営に当たりました。

18:30に開始し、20:30に雨



も降らず、無事に終わることができました。今年は昨年以上の方が集まり、年ごとに増加の一途をたどっています。運営にあたったスタッフは、「大変だった」とは言いながら、無事に終わり達成感を味わっていました。